

行政視察等報告書

令和3年7月16日

境港市議会
議長 森岡 俊夫 様

会派名 自民クラブ
代表者 荒井 秀行



下記のとおり行政視察（調査・**研修**）を行ったので、その結果を報告します。

記

| | |
|----------------|---|
| 1 視察等期間 | 令和3年7月7日（水）～令和3年7月8日（木） |
| 2 視察等先 及び内容 | 令和3年7月7日（水）～8日（木） 全国地方議会サミット2021（オンライン） |
| 3 視察等議員 | 吉井 巧 |
| 4 総経費 | 合計（1名） 10,660 円 （一人当たり 円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て |
| 5 所見等 | 別紙のとおり |

内 容：全国地方議会サミット2021（オンライン参加）

第1日 7月7日（水）開催 13時から18時まで

13時00分 開会

◆基調講演「チーム議会でデジタル変革を」

北川 正恭（早稲田大学名誉教授／元三重県知事）

◆講演「地域におけるDX—自治体DX・住民接点DXから地域活性DXへ—」

松本 良平（(株)NTT データ 企画調整室長）

◆特別講演「だれひとり取り残さない—デジタル庁の変革ビジョン—」

平井 卓也（デジタル改革担当大臣）

◆議会セッション「オンライン議会の最前線と議会からのDX」

前田 将臣（大阪府議会議員）

齋藤 久代（茨城県取手市議会議員）

鈴木 太郎（自由民主党横浜市議会議員団団長）

中村 健（コーディネーター／早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）

◆議会セッション「『議会からの政策サイクル』の作動とチーム議会への変革—議会評価による検証を起点に—」

江藤 俊昭（大正大学教授）

清川 雅史（会津若松市議会議員）

川上 文浩（可児市議会議員）

野澤 清（日本生産性本部）

18時00分 閉会／第一日終了

第2日 7月8日（木）開催 10時から16時まで

10時00分 開会

◆講演「社会の変革とこれからの地方自治を展望する」

廣瀬 克哉（法政大学総長）

◆議会事務局セッション「チーム議会における議会（事務局）職員へのミッション」

吉田 利宏（コーディネーター／元衆議院法制局参事）

滑水 克士（滋賀県大津市議会 議会局長）

浜田 将彰（東京都墨田区監査委員・前区議会事務局長）

臼井 明子（神奈川県茅ヶ崎市議会事務局次長補佐）

◆講演「議会改革度調査より 議会DX・多様な参加の最新トレンド」

中村 健（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）

◆メディアセッション「社会の変化とメディアからみる地方議会」

講演「映画『はりぼて』の現場から」

砂沢 智史（(株)チューリップテレビ 映画『はりぼて』監督）

◆パネルディスカッション

千葉 茂明（コーディネーター／月刊「ガバナンス」編集主幹）

人羅 格（毎日新聞社論説委員）

山下 剛 (朝日新聞記者)

杉田 淳 (NHK 報道局 選挙プロジェクト 記者)

砂沢 智史 ((株)チューリップテレビ 映画『はりぼて』監督)

◆講演「社会の変革に対応する自治体と議会の役割」

片山 善博 (早稲田大学教授／元総務大臣)

◆総括：北川 正恭 (早稲田大学名誉教授／元三重県知事)

16 時 00 分 閉会／第二日終了

報告者：吉井 巧

所見等：

- ・ 議会が執行部を変えていくためには、議員と事務局とのパートナー関係が必要
- ・ 事務局が行政経験を生かして意見できる環境をつくる
- ・ 議会事務局の大切さ、条例で事務局が政策に参画できるようにしていく
- ・ 行政事務の効率化を図るためにデジタルを活用できるチームの必要性
- ・ ペーパーレス化をどう導入できるか、ハイブリットからの完全ペーパーレス化を目指し、オンライン会議を行える環境整備が必要
- ・ 議会からの政策サイクルによって住民福祉の向上を目指す
- ・ 会派を超えた議員間討議の必要性
- ・ 会津議会のような成功事例を徹底的にパクって進化させる
- ・ 議会 DX に向けた、人材育成と議会改革の必要性
- ・ 誰のためのデジタル化なのか、住民のためのデジタル化でなければならない